

第1回みんなのライフスタイル応援会議 次第

日 時：2019年（令和元年）5月8日（水）

10：00～11：30

場 所：福山市役所本庁舎 3階 小会議室

1 開 会

2 議 題

(1) みんなのライフスタイル応援会議について

(2) 講演

「笑っている父親が社会を変える～子育てパパの活躍はボウリングの一番ピン～」

NPO法人ファザーリング・ジャパン 代表理事 安藤 哲也

(3) 優先的に議論するテーマについて（案）

- ・（仮称）子育てパパ活躍デイ

- ・（仮称）働き方改革の“輪” 広がるプロジェクト

- ・地域の子ども・子育て支援の充実

(4) その他

3 閉 会

みんなのライフスタイル応援会議 関係者名簿

(委員)

委員		代理出席者	
名前	所属・役職	名前	役職
荒木 栄作	福山商工会議所青年部 会長 (SRホールディングス株式会社 代表取締役 CEO)		
岡崎 瑞穂	株式会社オーザック 専務取締役		
坂本 佳世	子供の遊びと暮らしデザイン研究所 代表		
笹木 秀雄	福山市子ども会育成協議会 会長	神原 史江	副部長
正保 正恵	ふくやま女性テラス(福山市立大学教育学部 教授)		
武田 聡樹	株式会社サンエイ 代表取締役社長		
林 誠	福山市地域福祉貢献活動協議会 副会長 (社会福祉法人白鷺 理事長)		
本田 重行	株式会社エブリイ 社長室付	三好 映理子	統括マネージャー
三宅 飛鳥	中国宣伝企画株式会社びんまる編集室 編集長		
宮本 大輔	福山商工会議所青年部 (株式会社三共冷熱 代表取締役社長)		
藪田 健一	福山商工会議所青年部 副会長 (株式会社ガスエナジーヤブタ 専務取締役)		

(50音順, 敬称略)

(オブザーバー)

名前	所属・役職	備考
津島 伊保	広島県商工労働局働き方改革推進・働く女性応援課長	
内藤 和弘	広島県健康福祉局子供未来戦略担当課長	
澤 尚幸	福山市政策アドバイザー	欠席
安西 紗耶	福山市戦略推進マネージャー	欠席
中野 伸之	福山市戦略推進マネージャー	欠席
西依 清香	福山市戦略推進マネージャー	欠席
野口 進一	福山市戦略推進マネージャー	
斐 崗	福山市戦略推進マネージャー	欠席

(敬称略)

(事務局)

名前	所属・役職	備考
中村 啓悟	企画財政局企画政策部長	
小川 修作	企画財政局企画政策部企画政策課長	
神原 明子	経済環境局経済部経済総務課長	
藤井 三枝子	経済環境局経済部産業振興課雇用労働担当課長	欠席
内田 宏明	保健福祉局福祉部福祉総務課長	欠席
藤井 順子	保健福祉局児童部ネウボラ推進課長	
平林 由佳	市民局まちづくり推進部まちづくり総務課長	
神園 敦之	市民局まちづくり推進部青少年・女性活躍推進課長	
來山 浩一郎	教育委員会管理部教育総務課長	

みんなのライフスタイル応援会議について

1 設立の目的

2018年（平成30年）8月に策定した「新たな人口減少対策～強化策～」で示した目標『多様なライフスタイルが実現できるまち』の実現に向け、産学金官民で役割を分担し、オール福山で人口減少対策を進める。

2 「新たな人口減少対策」の方向性

(1) ペルソナの設定（別添参考資料1参照）

3つの社会増減のターニングポイントと4つのライフスタイルに区分して設定

(2) 重点ペルソナの設定（別添参考資料2参照）

人口減少対策としての施策効果が大きいペルソナを設定

3 会議の役割（案）

オール福山で人口減少対策を進めるため、以下の事項を実行するとともに、会議で決定された取組内容や活動状況について、市内企業や各種団体へ波及させ、実行の“輪”を広げる。

- ① 人口減少の現状・課題について共通認識を深める
- ② 自分たちができることを考える
- ③ 組織や年代を超えて協力し合う
- ④ 協力して実施することを企画提案する
- ⑤ アクションプランに基づく施策を幅広く実践する
- ⑥ ターゲット（ペルソナ）の声をしっかり聞いて活動に生かす

4 構成委員

会議の構成委員や主な役割は次のとおりとする。

	団体	主な役割
産	福山商工会議所青年部	中小企業への取組の波及
	株式会社オーザック	取組事例の紹介と波及 (国「働き方改革実現会議」委員, くるみんマーク認定企業)
	株式会社サンエイ	取組事例の紹介と波及 (総務省「テレワーク先駆者百選」委員, ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者)
	株式会社エブライ	取組事例の紹介と波及 (ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者, くるみんマーク認定企業)

	中国宣伝企画株式会社びんまる編集室	子育て世代への情報発信
民	ふくやま女性テラス	女性テラス委員を通じた取組の波及
	子供の遊びと暮らしデザイン研究所	地域での子ども・子育て支援の実施
地域	福山市地域福祉貢献活動協議会	地域での子ども・子育て支援の実施
	福山市子ども会育成協議会	地域での子ども・子育て支援の実施
オブザーバー	広島県働き方改革推進・働く女性応援課	働き方改革や仕事と家庭の両立支援施策の助言
	広島県子供未来戦略担当	子ども・子育てに関する施策の助言

みんなのライフスタイル応援会議要綱

(目的及び設置)

第1条 多様なライフスタイルが実現できるまちの実現に向けて、産学金官民で役割を分担し、オール福山で人口減少対策を進めるため、みんなのライフスタイル応援会議（以下「応援会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 応援会議は、次に掲げる事項を所掌するものとする。

- (1) 新たな人口減少対策アクションプランに係る具体的な取組の検討、実行及び推進に関すること。
- (2) その他人口減少対策の推進に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 応援会議の委員は、15名以内とし、次に掲げる者とする。

- (1) 応援会議の目的及び活動の趣旨に賛同する団体等
- (2) その他市長が必要と認める団体等

(会議)

第4条 応援会議の会議は、必要に応じて、関係のある委員だけで開くことができる。

- 2 市長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の応援会議への出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 応援会議の庶務は、福山市企画財政局企画政策部企画政策課が行う。

(雑則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、応援会議の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、2019年（平成31年）4月24日から施行する。

優先的に議論するテーマについて

1 (仮称) 子育てパパ活躍デイについて

(1) 問題提起

本市で実施したアンケート調査から、「心身のリフレッシュを求めている女性が多い」と「育児休業を取得している父親が少ない」ことから、男性の育児参加を促し、女性がリフレッシュできる機会を設ける必要がある。

(参考)

- ・子育てをする上での不安や悩みについては、「出産や育児にかかる経済的負担が大きい (37.7%)」、「心理的、肉体的負担が大きい (35.8%)」、「仕事と子育ての両立が難しい (28.3%)」、「自分の自由な時間が持てない (26.4%)」などとなっており、心身のリフレッシュを求めている女性が多い。
- ・「育児休業を取得した」と回答した母親は 27.2% に対し、父親は 1.7% と割合に差が出ている。また、母親は子どもが生まれたとき、「働いていなかった」が約 6 割と高くなっており、育児休業を取得せず、妊娠・出産を機会に仕事を辞めている状況がうかがえる。

(2) 目的 (案)

男性 (子育てパパ) が積極的に育児に参加し、女性 (子育てママ) の心身のリフレッシュにつなげるため、官民で連携して「(仮称) 子育てパパ活躍デイ」を設定し、推進するもの。

(3) 設定候補日 (案)

(仮称) 子育てパパ活躍デイの候補日は、次に示す日又は前後 1 週間を基本とする。

日程	名称
11 月第 3 日曜日	家族の日 (内閣府) ※家族の週間 (家族の日前後各 1 週間)
8 月 8 日	パパの日 (日本記念日協会 HP より)
10 月 19 日	イクメンの日 (日本記念日協会 HP より)
11 月 19 日	いい育児の日 (日本記念日協会 HP より)
毎月 12 日	育児の日 (日本記念日協会 HP より)

(4) 各団体の取組例 (案)

別添参考資料 3 参照

2 (仮称)働き方改革の“輪”広がるプロジェクトについて

(1) 問題提起

本市で実施したアンケート調査から、子育てと仕事の両立のために「休暇が取得しやすい職場環境づくり」や「労働時間の短縮やフレックスタイムの導入」などを企業に求めている。

また、学生が就職先の企業に求めることとしては、「雇用条件が良い(休日・休暇が取得しやすい、残業時間が少ない)」ことなどが挙げられる。

(参考)

- ・子育てと仕事の両立のために企業に期待することとしては、「子どもの病気・行事のときに休暇がとりやすい職場環境づくり(79.2%)」や「労働時間の短縮やフレックスタイムの導入(52.8%)」、「育児休業が取得しやすい職場環境・雰囲気づくり(52.8%)」、「育児休業制度の充実(47.2%)」などが挙げられ、労働条件の改善を求める声が多い。
- ・学生が就職先の企業に求めることとしては、「雇用条件が良い(休日・休暇が取得しやすい、残業時間が少ない)」が36.1%と「大都市との賃金条件に差がない(給料・各種手当・残業代)」の21.0%よりも多い。

3 地域の子ども・子育て支援の充実について

(1) 問題提起

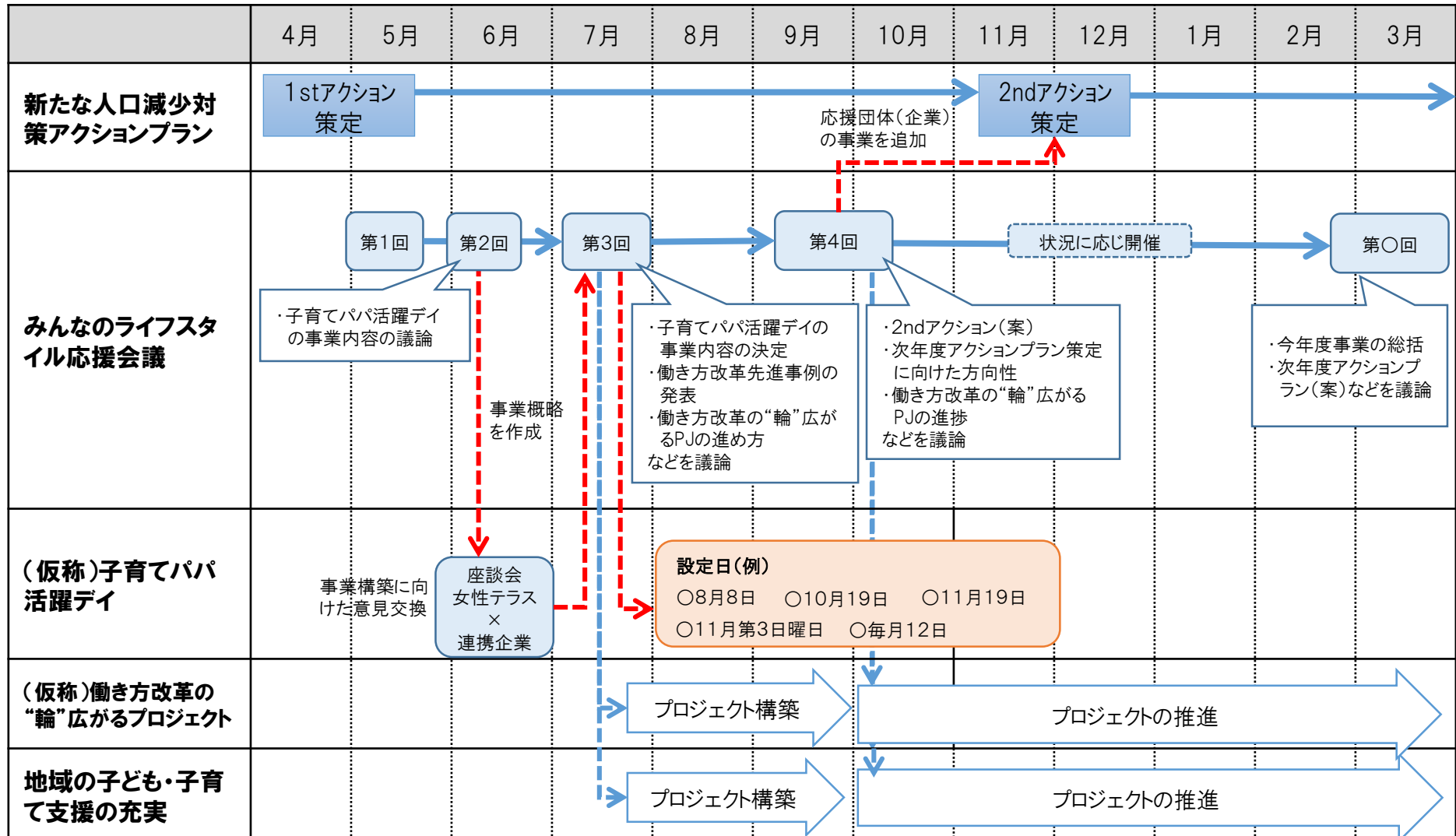
厚生労働省の調査(国民生活基礎調査)によると、核家族の占める割合は約60%となっており、核家族内で子育てを行うことで、一人にかかる負担が大きくなっている。子ども一人ひとりが健やかに成長するためには、家族だけではなく、地域コミュニティ全体で子育てを支援していく体制を構築し、心理的・肉体的な負担軽減を図る必要がある。

(参考)

- ・理想の子どもの人数を持つ条件として、「出産や子育てに対する配偶者・パートナーの協力(79.7%)」や「保育所など子どもを預けられる場所の充実(58.0%)」など、子育てに係る心理的、肉体的な負担の軽減を求める声が多く、子育てに協力してもらえる環境が求められている。

今後の進め方について(スケジュール案)

- 2019年6月上旬:第2回応援会議[(仮称)子育てパパ活躍デイの事業内容を議論]
- 2019年6月頃迄:(仮称)子育てパパ活躍デイの実施に向け,女性テラスと連携企業との座談会を実施
- 2019年7月下旬:第3回応援会議[(仮称)子育てパパ活躍デイの事業内容決定,働き方改革先進団体による事例発表]
- 2019年10月中旬:第4回応援会議[2ndアクション(案),次年度アクションプラン策定に向けた方向性]
- 2019年12月末迄:2ndアクションの策定(応援団体(企業)の事業を追加)



ライフスタイルの多様化

2040年に向けた目標

注力すべき課題

(強み・弱み, アンケート結果など)

政策ターゲット(ペルソナ)の設定

生涯未婚率の上昇や働き方の多様化など、従来から生活スタイルが変化

多様なライフスタイルが
実現できるまち

まずは、「現役世代を減らさない」

従来

現在

人生において就職、結婚、子育てがパッケージ化

働き方や結婚・子育ての選択肢が広がり、標準的なものがなくなりつつある

チャレンジへの選択肢がたくさんある

希望のライフスタイルへのサポート

多様性を尊重しあえる心

- 大学進学時の転出超過
 - ・ 高校生の約4割が市外大学に進学
 - ・ 大学の転出先は、岡山県、大阪府、東京都、京都府、愛媛県、兵庫県の順
 - ・ 男子高校生は、女子高校生に比べ市内就職の割合が高い
- 就職期における転出超過の継続
 - ・ 20代前半で転出が増加傾向、20代後半以降で外から呼び込む力が低下
 - ・ 就職したい業種や職種が地元がない
 - ・ 転出理由は「仕事」「結婚・離婚」が多い
- 出生数の減少
 - ・ 2012年以降、自然減が継続
 - ・ 出生数が4,000人を下回る
 - ・ 合計特殊出生率は、一定の水準を保っているが、親となる世代が転出等により減少
 - ・ 10代～30代の若い女性の転出超過の継続
 - ・ 5割の女性が結婚や出産を機に退職
 - ・ ひとり親家庭のうち7割が生活困難層
- 若年層で高い移住意識
 - ・ 20代、30代で移住の経験や検討している割合が高い
- 外国人の数、割合が近年増加
 - ・ 生産年齢人口に占める外国人の割合が年々増加

人口減少対策を
3つの社会増減のターニングポイントと
4つのライフスタイルで捉える

ターニングポイント

進学

就職

移住

ライフスタイル

シングルスタイル

専業主婦(夫)スタイル

共働き(子どもあり)スタイル

共働き(子どもなし)スタイル

9つのペルソナを設定

「ペルソナ」とは、サービスを利用する象徴的なユーザー像のこと

【重点】ペルソナ① 高3進学女子

○…市が実施する取組
●…産業界や民間主導で実施する取組

参考資料2

新たな人口減少対策アクションプラン2019(抜粋)

市外大学への進学を考えている
高校3年生の女子

福山で暮らす“未来を描く”

A. 広島市や岡山市など
比較的大きな地方都市の
大学へ進学したい。

B. 駅前に友達と遊んだり
買い物できる場所が少ない。

年齢：18歳
性別：女性（未婚）
職業等：高校生（大学受験を控えている）
子ども：なし
住まい：福山市に在住（実家）

詳細

新しい価値を生む都市づくり

- 若者も歩いて楽しめる歩行空間の整備
 - ▶ 地域の個性を感じる店舗や街並みを楽しめる歩行空間の創出（ワークショップの開催など）
- 若者も楽しめるまちなかパーク整備

市内企業の認知度向上と郷土愛の醸成

オンリーワン・ナンバーワン企業など市内企業の認知度を高めるとともに、郷土愛を醸成し、将来のUターン就職につなげます。

●市内企業などの出張授業による企業の魅力発信

- ▶ 市内企業の認知度向上や職業観醸成の講座などの実施
- ▶ 出前講座や就職セミナーなどで企業の魅力発信

○キャリアデザイン×ライフデザインの支援 戦略マネ

- ▶ 自身のキャリアプランと合わせ、結婚・出産などのイベントを視野に入れた福山暮らしプランを考える機会を提供

市内の教育機能の向上と定住促進

大学を始めとする市内の教育機能を向上させ、福山にしながら多様に学べる機会を創出します。

●未来社会をデザインする特別講座の開講

- ▶ ソフトバンクや市外大学などと連携し、福山にしながら多様に学べる機会（サテライト教育など）を創出
- ▶ 金融機関と市の連携による学生ニーズ把握

●官民協働による留学支援（トビタテ！留学JAPAN）

- ▶ 福山グローバルパートナーシップ協会による海外留学プログラム

○市外大学への通学費支援

- ▶ 新幹線や高速バスでの大学通学者を対象に通学定期券の購入費の一部を補助

【重点】ペルソナ③ 就活大学生

○…市が実施する取組
●…産業界や民間主導で実施する取組

就職で福山に戻るかどうか
悩んでいる 大学3年生

企業と学生が“出会う”

A. 親からは福山に戻ってほしい
と言われているけど、地元企
業のことがわからなくて不安。

B. 働いたら福利厚生が充実
している職場で働きたい。

C. 現在住んでいるまちの
方が、福山より都会で
楽しい。

年 齢：21歳
性 別：男女（未婚）
職業等：大学生（就職活動中）
子ども：子どもなし
住まい：福山市出身
市外に在住（賃貸住宅）

詳細

新しい価値を生む都市づくり

○働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前 の再生

➢ おしゃれなオフィス群の形成など若者や女性をひき付
けるビジネス環境の創出（ワークショップの開催）

→ 市内企業とのマッチング強化

市内企業と市外大学生とのマッチング機会を充実
するとともに、若者が働きたいと思える場を創出し、
市内企業へのUターン就職を促進します。

● 市内企業と市外学生とのマッチング強化

県との連携

- 中小企業の社長の声を届ける「社長の声プロジェクト」
- 関西圏などの大学生を対象とした市内企業との交流会や
サマーツアーの実施
- 市内企業の県外支店においてインターンシップを受け入れ

○ 市内企業への就職活動費などの支援

- 市内企業へ就職を希望する学生の就職活動費を支援

○ 企業誘致の促進

- ICT企業、本社、ファブレス企業など成長産業の誘致を
促進

●（仮称）働き方改革の“輪”広がる

プロジェクト（再掲）

戦略マネ

- ワーク・ライフ・バランス認定制度や健康経営促進セミ
ナーによる働き方改革の推進
- 講演会の開催や各企業の取組の“輪”を広げるための情報
発信（再掲）

○ 女性の働く環境改善企業への支援

県との連携

- 女性の就労環境の改善を行う企業に対し、事業費の一部
を補助
- 働く女性のロールモデルを発信

【重点】ペルソナ⑤ 子育て共働き女性

○…市が実施する取組
●…産業界や民間主導で実施する取組

3人目を考えている25～39歳 子育て中の共働き女性

子どもの成長に“幸せ”を感じる



A. 3人目を考えているけど、
経済面での不安のほか、夫
の育児へのサポートに不満。

B. 夫の会社は休暇制度が充実
してなくて、子どもの体
調不良などで休むのはいつ
も私。

年齢：38歳
性別：女性（既婚）
職業等：会社員
子ども：2人（幼児（保育所））
住まい：福山市に在住

詳細

子育てと仕事の両立推進

職場復帰や男性が育児休業を取得しやすいなど、子育てにやさしい企業の“輪”を広げ、発信します。

○子育てにやさしい企業の発信

県との連携

▶子育て情報誌において、男性の育児休業や子育てにやさしい市内企業の情報を発信（「イク男さん奮闘記」の連載）

●（仮称）働き方改革の“輪”広がるプロジェクト

戦略マネ

▶ワーク・ライフ・バランス認定制度などによる働き方改革の“輪”を拡大
▶働き方改革の講演会の開催や各企業の取組の“輪”を広げるための情報発信

→ ネウボラを中心とした子育て支援の充実

●子育てパパの育児参加促進（（仮称）子育てパパ活躍デイなど）

▶子育てパパに対して、育児のための休暇日「（仮称）子育てパパ活躍デイ」を設定し、官民連携でパパの育児参加を促進
▶「夢みるパパとママの会」など子育てパパが気軽に参加できる講座の充実
▶男性従業員への家事・育児参加促進と環境整備

○（仮称）ママ あのねコンサートへの招待

▶出産を控えた女性や未就学児の子どもがいる家族などを対象としたマタニティコンサートへの招待

●子育て世代も楽しめるまちなかパーク整備

○ファミリー・サポート・センター事業の充実

▶利用者拡大に向けた取組と協力会員（受入れ側）の確保強化

○子どもの医療費助成制度の拡充

▶2019年度から助成対象を通院・入院ともに中学生まで拡充

○福山ネウボラの充実

▶サポート手帳による相談の充実
▶ネウボラ相談員のスキルアップなどによる相談体制の充実

○多様な保育サービスの提供

▶病児・病後児保育事業の充実（既存施設の近隣保育施設において預かる仕組みを試行実施）
▶休日保育実施施設を1施設増（5施設→6施設）

○保育人材確保の強化による保育の質的向上

▶私立施設の保育補助者雇上経費の一部助成などによる保育人材の確保強化

妊娠を希望している25～39歳
共働き夫婦

妊娠・出産・子育ての“不安解消”

A. 結婚して5年。そろそろ子どもがほしいが、経済面で不安。

B. 不妊治療にも行きたいけど、仕事との両立が難しい。

年齢：34歳
性別：男女(既婚)
職業等：会社員
子ども：なし
住まい：福山市に在住

詳細

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

ネウボラを中心とした妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援により、妊娠を希望する世帯の不安を解消します。

○不妊治療や不育症治療に対する経済的負担の軽減

▶ 不妊治療(男性不妊治療の初回治療費の助成額を拡充)や不育症治療に係る費用の一部を助成

○子どもの医療費助成制度の拡充(再掲)

○福山ネウボラの充実(再掲)

○風しん抗体検査の実施

▶ 先天性風しん症候群の発生予防のため、妊娠を希望する女性などに検査を実施

妊娠と仕事の両立推進

不妊治療に係る休暇などの取得、出産後の仕事復帰など子育て世代にやさしい職場環境を整備します。

○不妊治療と仕事の両立支援

▶ 不妊治療と仕事の両立ができるよう企業の職場環境づくりを支援

●(仮称)働き方改革の“輪”広がるプロジェクト(再掲)

戦略マネ

子育てパパに対して、育児のための休暇日「(仮称)子育てパパ活躍デイ」を設定し、官民連携でパパの育児参加を促進します。

(仮称)子育てパパ活躍デイの設定日

(例)

○内閣府 家族の日・家族の週間

・11月第3日曜日(家族の日)

・家族の日の前後各1週間(家族の週間)

○その他育児関係の記念日(一社)日本記念日協会HPから)

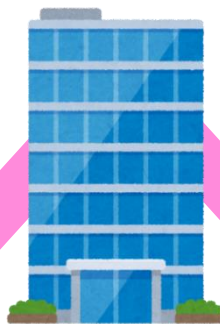
・8月8日(パパの日)

・11月19日(いい育児の日)

・10月19日(イクメンの日)

・毎月12日(育児の日)

産業界・金融機関



- ・子どものいる従業員へ休暇取得又は早めの退社を促進
- ・従業員の子育て参加促進
- ・就業規則の改正などによる休暇制度の充実

小売業・サービス業 (スーパーマーケットなど)



- ・子育てパパが簡単に料理できる商品(カット野菜, 簡単に調理できる食材セットなど)の販売
- ・親子で参加できるイベントの実施(料理教室など)
- ・お買物ポイントなどでの優遇
- ・その他独自サービスの提供

福山市



- ・民間企業などへ参加呼びかけ
- ・参加企業の取組内容をPR

官民連携による子育てパパの育児参加促進